The scene of clean-up campaign

19.11.28

「絆」の清掃隊 教室から街へ

熱田区・日比野中 生徒会が手挙げ実現

地域の住民らと清掃活動をする日比野中学校の生徒たち＝名古屋市熱田区で

「深めよう地域の絆 広げよう美しい街」をテーマに、名古屋市熱田区の市立日比野中学校（長谷川治校長、670人）の生徒たちが、地元住民らと地域の清掃活動に取り組んでいる。生徒会を中心に始めた年間事業で、生徒たちは「清掃をきっかけに地域の人との交流を深めたい」と張り切っている。（川村真貴子）

この試みは、生徒会が企画したさまざまな夢を実現させようという市教育委員会の「夢・チャレンジ」事業の一環。同校の生徒会が応募し、今年度の事業に選ばれた。地域とのきずなを大事にしたいとの思いから清掃隊を「BOND（きずな）隊」と名付けた。

7月と9月に地元の公園や地下鉄駅周辺で清掃活動に取り組んだ。12月には、同校の和太鼓・踊り部の演技や吹奏楽部の演奏を披露した後、白鳥公園や堀川でも清掃する予定だ。

3回目の27日は、午後2時から1時間半にわたって、生徒の有志約280人が参加。車の往来の激しい同区の六番町交差点から一番町交差点の周辺を、学区内の船方小学区の連絡協議会のメンバーら約40人と協力し、清掃した。

生徒たちは、路上や交差点近くの植え込みに捨てられた吸い殻や紙くず、雑草などを丁寧に取り除き、ごみ袋に入れていった。45リットルのごみ袋はすぐいっぱいに。可燃ごみが30袋、不燃ごみが20袋、資源ごみが20袋集まった。

この日参加した同協議会の村瀬文蔵副会長は「中学生との協力は初めてだが、若い気持ちをもらって活力が出た。これからもいろんなコミュニケーションができればと思う」と話す。

「夢・チャレンジ」事業は今年度限りだが、生徒会では、今後も放置自転車の片づけや防火活動などを地域の住民らと取り組んでいきたいとしている。

生徒会長の長田圭さん（2年）は「年齢の離れた方は、しゃべりづらいところもあるけれど、活動などを通じてはめてもらえるとうれしい。これをきっかけに交流を深めていきたい」と話した。